

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

2

(11)Publication number : 07-200701

(43)Date of publication of application : 04.08.1995

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 17/50

G06K 17/00

(21)Application number : 05-354002

(71)Applicant : DAINIPPON PRINTING CO LTD

(22)Date of filing : 28.12.1993

(72)Inventor : TAKAHASHI TATSUMI

HIRATA ISAO

FURUYA MASAO

TOCHIHARA SEIICHI

KOIKE YASUO

SAITO MASA

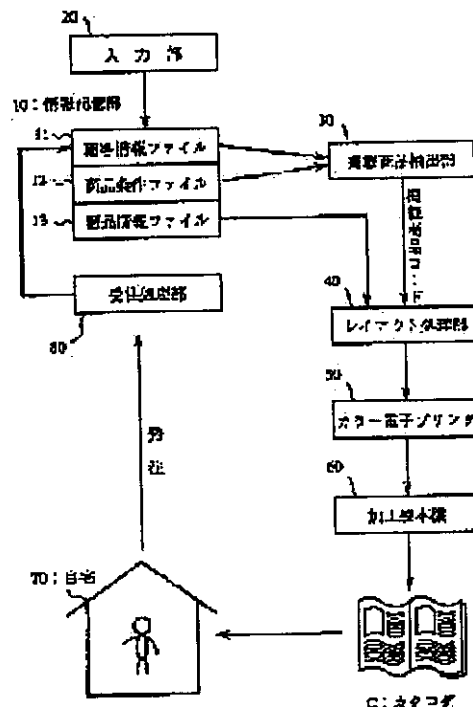
UENO KOYO

(54) CATALOG PREPARING SYSTEM FOR MAIL-ORDER BUSINESS

(57)Abstract:

PURPOSE: To prepare a catalog, which publishes only the merchandise suitable for each customer, peculiar for each customer.

CONSTITUTION: This system prepares a merchandise information file 13 recording merchandise information (such as the photographic images explanatory sentences of merchandise) to be published in the catalog concerning respective kinds of merchandise, customer information file 11 recording personal information concerning the specified attributes of respective customers, and merchandise condition file 12 setting the respective attributes of personal information concerning respective kinds of merchandise. The personal information in the customer information file 11 is compared with the conditions in the merchandise condition file 12, and only the merchandise matched with the conditions concerning each customer is extracted by a published merchandise extracting part 30. The merchandise information concerning the extracted merchandise is read out and laid out by a lay-out processing part 40. The laid-out merchandise information is outputted from a color electronic printer 50 onto the surfaces of paper, and these surfaces of paper are bound into the form of a leaflet by a working book-binding machine 60 and sent to the customer as a catalog C.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 24.07.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 10.06.2003

[Kind of final disposal of application other than

the examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision 2003-13293
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's 10.07.2003
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-200701

(43) 公開日 平成7年(1995)8月4日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/60				
17/50				
G 0 6 K 17/00	L			
		7623-5L	G 0 6 F 15/ 21 3 3 0	
			15/ 60 3 8 0 K	
			審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 8 頁)	

(21) 出願番号 特願平5-354002

(22) 出願日 平成5年(1993)12月28日

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 高橋 達見

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 平田 功

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 古谷 昌夫

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(74) 代理人 弁理士 志村 浩

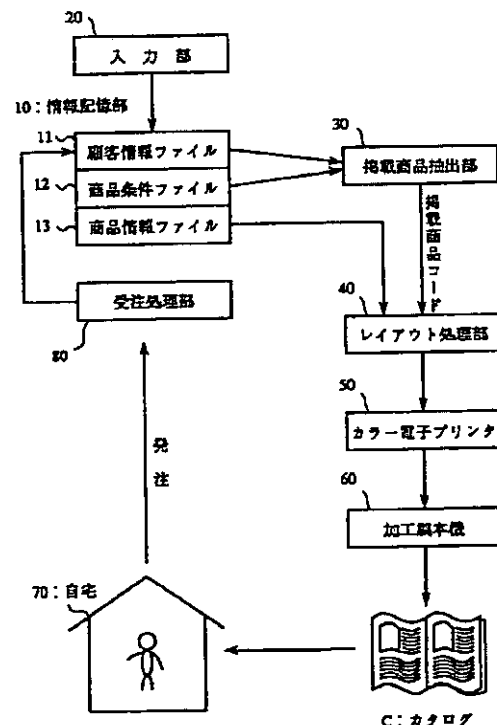
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 通信販売用カタログ作成システム

(57) 【要約】

【目的】 個々の顧客に適した商品だけを掲載した、顧客ごとに固有のカタログを作成する。

【構成】 各商品についてのカタログに掲載すべき商品情報（商品の写真画像や説明文）を収録した商品情報ファイル13と、各顧客についての特定の属性に関する個人情報情報を収録した顧客情報ファイル11と、個人情報の個々の属性に合致する条件を各商品について設定した商品条件ファイル12と、を用意する。掲載商品抽出部30により、顧客情報ファイル11内の個人情報と商品条件ファイル12内の条件とを比較し、個々の顧客について条件が合致する商品だけが抽出される。レイアウト処理部40は、抽出された商品について商品情報を読み出しレイアウトする。カラー電子プリンタ50からは、レイアウトされた商品情報が紙面上に出力され、この紙面は加工製本機60によって小冊子の形に製本され、カタログCとして顧客に送付される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 各商品についてのカタログに掲載すべき情報を収録した商品情報ファイルと、各顧客についての特定の属性に関する個人情報情報を収録した顧客情報ファイルと、前記個人情報情報の個々の属性に合致する条件を前記各商品について設定した商品条件ファイルと、を記憶する手段と、
前記顧客情報ファイル内の個人情報と前記商品条件ファイル内の条件とを比較し、個々の顧客について条件が合致する商品を抽出する掲載商品抽出手段と、
前記掲載商品抽出手段によって抽出された商品についてのカatalogに掲載すべき情報を、前記商品情報ファイルから取り出し、この取り出した情報に基づいて個々の顧客に提示する通信販売用カタログ情報を作成する手段と、
を備えることを特徴とする通信販売用カタログ作成システム。

【請求項 2】 請求項 1 に記載のシステムにおいて、個々の属性についての合致判断を論理和条件で行い、商品を抽出するための合致判断を複数の属性についての論理積条件で行うことを特徴とする通信販売用カタログ作成システム。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 に記載のシステムにおいて、商品情報ファイルから取り出した情報を、所定のフォーマットでレイアウトし、レイアウトした情報をカラー電子プリンタに与え、このカラー電子プリンタによって出力した紙面を綴じ合わせるによって通信販売用カタログの冊子を作成することを特徴とする通信販売用カタログ作成システム。

【請求項 4】 請求項 1～3 のいずれかに記載のシステムにおいて、顧客からの注文をデータとして受け取る受注処理手段を更に設け、この注文データに基づいて、顧客情報ファイル内に過去の購入履歴を個人情報として記録することを特徴とする通信販売用カタログ作成システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は通信販売用カタログ作成システム、特に、コンピュータを利用して個々の顧客に適したカタログ作成を行うことができるシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 商品の一販売形態としての通信販売は、年ごとに市場を拡大してゆく傾向にあり、今後も益々重要な販売形態になってゆくものと期待されている。この通信販売では、顧客は商品の実物を目にすることなく、カタログだけを見て商品の購入を行うことになる。この点が、一般の小売店における販売形態と大きく異なる点である。したがって、通信販売が成果をあげるか否か

は、カタログの内容に大きく依存する。最近では、購入者の嗜好も多様化してきているため、カタログに掲載する商品の種類も多くなり、また、比較的寿命の短い流行商品も増えているため、カタログに掲載する商品も頻繁に変わることが多い。このような事情から、カタログ印刷を請け負う印刷業界では、コンピュータを利用したカタログ作成システムが盛んに採り入れられている。このようなシステムでは、商品写真をスキャナ装置により画像データとして取り込み、商品のコード番号、名称、価格、機能、説明文などをワードプロセッサなどの文字入力装置で文字データとして取り込み、各商品ごとに取り込んだ画像データや文字データがデータベースとして記憶装置内に蓄積される。このデータベースを用いて、コンピュータにより、所望の商品を所望の頁に所望の態様で割り付ける処理を行い、印刷用の版をスキャナ装置などから出力し、カタログを印刷している。たとえば、特開平 3-37649 号公報や特開平 3-39745 号公報には、コンピュータを利用して商品の割付処理を行うためのチラシ・カタログ類の割付装置が開示されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 最近では、生活水準の向上とともに、生活者の趣味や趣向も多様化してきており、個々の購入者によって商品に対する好みが多様多様になってきている。別言すれば、各購入者ごとに、興味のある商品と、全く関心のない商品と、がはっきり分けられるようになってきている。たとえば、ゴルフ用具は、ゴルフのプレーヤーにとっては、興味のある商品であるが、ゴルフに関心のない者にとっては無用の長物である。したがって、ゴルフに関心のない顧客に、ゴルフ用具のカタログを送付しても、購買は期待できない。また、同じ婦人服にしても、年齢によって好みははっきりと分かれる傾向にあり、熟年者向けの婦人服のカタログを、若年層に送付しても、購買は期待できない。

【0004】 ところが、これまでの通信販売用カタログ作成システムでは、同一内容のカタログを多数印刷し、これを多数の顧客に送付することを前提としていたため、カタログには個々の顧客の趣味や趣向が反映されることはなかった。このため、個々の顧客の観点から見れば、カタログに掲載されている商品の大半は興味のない無駄な情報と言わざるを得なかった。

【0005】 そこで本発明は、個々の顧客に適した商品だけを掲載した、顧客ごとに固有のカタログを作成することができる通信販売用カタログ作成システムを提供することを目的とする。

【0006】**【課題を解決するための手段】**

(1) 本願第 1 の発明は、通信販売用カタログ作成システムにおいて、各商品についてのカタログに掲載すべき情報を収録した商品情報ファイルと、各顧客についての

特定の属性に関する個人情報を収録した顧客情報ファイルと、この個人情報の個々の属性に合致する条件を各商品について設定した商品条件ファイルと、を記憶する手段と、顧客情報ファイル内の個人情報と商品条件ファイル内の条件とを比較し、個々の顧客について条件が合致する商品を抽出する掲載商品抽出手段と、この掲載商品抽出手段によって抽出された商品についてのカタログに掲載すべき情報を、商品情報ファイルから取り出し、この取り出した情報に基づいて個々の顧客に提示する通信販売用カタログ情報を作成する手段と、を設けたものである。

【0007】(2) 本願第2の発明は、上述の第1の発明に係る通信販売用カタログ作成システムにおいて、個々の属性についての合致判断を論理和条件で行い、商品を抽出するための合致判断を複数の属性についての論理積条件で行うようにしたものである。

【0008】(3) 本願第3の発明は、上述の第1または第2の発明に係る通信販売用カタログ作成システムにおいて、商品情報ファイルから取り出した情報を、所定のフォーマットでレイアウトし、レイアウトした情報をカラー電子プリンタに与え、このカラー電子プリンタによって出力した紙面を綴じ合わせることによって通信販売用カタログの冊子を作成するようにしたものである。

【0009】(4) 本願第4の発明は、上述の第1～第3の発明に係る通信販売用カタログ作成システムにおいて、顧客からの注文をデータとして受け取る受注処理手段を更に設け、この注文データに基づいて、顧客情報ファイル内に過去の購入履歴を個人情報として記録するようにしたものである。

【0010】

【作 用】本発明に係るシステムでは、商品情報ファイル、顧客情報ファイル、商品条件ファイル、が用意される。顧客情報ファイル内には、個々の顧客について、年齢や趣味などの個人情報が収録されている。一方、商品条件ファイル内には、個々の商品ごとに、どの年齢層向けの商品であるか、あるいは、どのような趣味をもった顧客を対象とした商品であるか、といった情報が収録されている。掲載商品抽出手段は、これらのファイル内の情報を参照して、個々の顧客ごとに掲載商品の抽出を行う。たとえば、顧客Aについて、年齢：52才、趣味：テニスという個人情報が収録されていた場合には、商品条件ファイルを検索して、このような年齢層および趣味に合致する商品を顧客Aのために抽出する処理が行われる。こうして各顧客ごとに固有の商品が抽出できれば、商品情報ファイルから、抽出した商品についてのカタログに掲載すべき情報（商品コード、商品写真、商品名、価格、説明文など）を取り出し、この取り出した情報に基づいて個々の顧客に送付するカタログを作成することができる。

【0011】従来のカタログは、いわば「レディーメイド

ド」というべきもので、同じ内容の印刷物を多数の顧客に共通して配布することを前提としていたものである。これに対し、本発明に係るシステムで作成されたカタログは、いわば「オーダーメイド」というべきもので、各顧客ごとに異なる商品が掲載されたユニークなカタログになる。

【0012】

【実施例】以下、本発明を図示する実施例に基づいて説明する。図1は本発明の一実施例に係る通信販売用カタログ作成システムの基本構成を示すブロック図である。情報記憶部10には、顧客情報ファイル11、商品条件ファイル12、商品情報ファイル13、の3つのファイルが保存されている。情報記憶部10に対しては、入力部20から情報を書き込んだり、書き換えたり、削除したりすることができる。ここで、顧客情報ファイル11は、多数の顧客についての特定の属性に関する個人情報を収録したファイルであり、商品条件ファイル12は、個人情報の個々の属性に合致する条件を各商品について設定したファイルであり、商品情報ファイル13は、各商品についてのカタログに掲載すべき情報を収録したファイルである。

【0013】掲載商品抽出部30は、顧客情報ファイル11内の個人情報と商品条件ファイル12内の条件とを比較し、個々の顧客について条件が合致する商品を抽出する機能を有する。ここで抽出された商品についてのコードは、掲載商品コードとして、レイアウト処理部40に与えられる。レイアウト処理部40では、与えられたコードに対応する商品情報を、商品情報ファイル13から取り出し、これを所定のフォーマットでレイアウトする。レイアウト処理がなされた情報は、カラー電子プリンタ50に送られ、紙面上にカラー画像として出力される。すなわち、掲載商品抽出部30によって抽出された商品の内容が、紙面上に出力される。出力された紙面は加工製本機60によって小冊子として製本される。こうして出力された小冊子が、個々の顧客に送付されるカタログCになる。

【0014】このようにして作成されたカタログCは各顧客の自宅70へ郵送される。このカタログCには、顧客情報ファイル11内の個人情報に基づいて掲載商品抽出部30が抽出した商品だけが掲載されている。したがって、カタログCの内容は顧客ごとに異なる。顧客がカタログCに掲載されている特定の商品を発注すると、受注処理部80によってこの注文を受ける処理が行われ、顧客がどの商品を購入したかを示す購入履歴情報が顧客情報ファイル11内に書き込まれる。

【0015】以上がこのシステムの概要である。ここで、掲載商品抽出部30、レイアウト処理部40、受注処理部80は、実際にはコンピュータによって実現される。このブロック図では、説明の便宜上、これら各部を別々のブロックで示したが、これはこのコンピュータの

働きを機能ごとに分けて示したためであり、実際には、汎用のコンピュータを特定のソフトウェアによって動作させることにより、これらの各機能ブロックが実現される。情報記憶部10は、このコンピュータに接続されたハードディスクなどの記憶装置であり、各ファイル11, 12, 13は、この記憶装置内に保存されるファイルである。なお、ここでいう「ファイル」とは、「概念的に同一の範囲に入る情報の集まり」という意味で用いているものであり、コンピュータの具体的なソフトウェア処理における情報の記録単位としての「ファイル」と必ずしも一致するものではない（具体的なソフトウェア処理を行う上では、より多数のファイルが作成されるのが一般的である。）。

【0016】入力部20は、このコンピュータに接続されたキーボード、マウス、スキャナといった入力機器であり、情報記憶部10内の各ファイルに情報を書き込んだり、書き換えたり、削除したりする操作を行うことができる。カラー電子プリンタ50は、このコンピュータに接続された高解像度のカラープリンタであり、印刷物とほぼ同じ品質のカラー画像を紙面上に出力することができる。加工製本機60は、カラー電子プリンタ50から出力されたプリンタ用紙を断裁したり、折り曲げたりする加工を行うとともに、複数頁の紙面を綴じ合わせて製本し、カタログとしての小冊子の形態を整える機能を有する。このような加工／製本を行うには、たとえば、特開平5-193613号公報に開示されているような折機および封書作成装置、特開平2-286568号公報に開示されているような丁合システム、特開平4-371895号公報に開示されているような冊子態の作成方法、などを利用することができる。

【0017】顧客が送付されたカタログを見て、受注処理部80に対して発注を行う方法としては、種々の方法が利用できる。現在、もっとも一般的な方法は、電話、葉書、ファクシミリなどによって、販売者側に注文を伝達する方法である。この場合は、販売者側のオペレータが、受注処理部80に対して、顧客の注文内容を入力する作業を行う。あるいは、顧客と受注処理部80とをブッシュホン回線などで接続し、顧客がブッシュボタンを操作して商品コードなどの注文情報を直接入力するような方法を探ることもできる。更に、カタログに掲載された各商品ごとにバーコードを付加しておくようにすれば、ペン型バーコード付き電話機などを用いて、顧客がバーコードによる注文を行うことも可能である。

【0018】続いて、情報記憶部10内に記憶されている各ファイルの内容および性質を具体的なモデルに基づいて詳述する。まず、図2に、顧客情報ファイル11の具体的な内容の一例を示す。この例では、4人の顧客A, B, C, Dについての個人情報が記録されている。個々の顧客に対しては、それぞれ、顧客コードK1021, K1022, K1023, K1024が割り当てら

れている。個人情報としてこの例では、「氏名」の他に、「年齢」、「性別」、「好きな色」、「趣味」、「年収」、「購入履歴」という6種類の属性を設定しており、個々の顧客ごとに各属性に関する個人情報が収録されている。たとえば、顧客コードK1021が割り当てられている顧客Aについては、年齢：35才、性別：男、好きな色：青、趣味：ゴルフ、年収：500万円、といった各属性ごとの個人情報が収録されており、更に、購入履歴という属性については、この通信販売システムを利用して過去に購入した商品のコードが記録されている。このような各顧客ごとの個人情報は、たとえば、この通信販売システムを利用するための会員になるための入会届にアンケート形式で記入してもらうなどの方法により採取することができ、採取した情報を、オペレータが入力部20から顧客情報ファイル11へ書き込む処理を行う。もっとも、現在実際に業務を行っている通信販売業者は、既にこのような個人情報を何らかの形式で保持しているのが普通であり、このような通信販売業者が本発明に係るシステムを導入するのであれば、既に保持している個人情報をそのまま入力すればよい。

【0019】一方、図3に、商品条件ファイル12の具体的な内容の一例を示す。この例では、4種類の商品「ワイングラス」、「スカーフ」、「テニスラケット」、「補聴器」について、それぞれ、商品コードS3051, S3052, S3053, S3054が割り当てられており、それぞれの商品について各属性ごとの合致条件が記録されている（表中のφは、その属性については無条件に合致することを意味する）。すなわち、図2に示す顧客情報ファイル11で設定された5つの属性「年齢」、「性別」、「好きな色」、「趣味」、「年収」のそれぞれについて、合致条件が記録されている（この実施例では、6つ目の属性「購入履歴」についての条件は繁雑になるため、省略してある）。たとえば、商品コードS3051が割り当てられた商品「ワイングラス」の合致条件は、属性「年齢」については「20～60才」、属性「性別」、「好きな色」、「趣味」については無条件（φ）、属性「年収」については「400万円以上」である。このような合致条件は、通信販売業者が、個々の商品の購買層を予想しながら適宜設定し、入力部20から商品条件ファイル12に入力することになる。上述の「ワイングラス」の場合、年齢が「20～60才」、年収が「年収400万円以上」、という購買層が予想されたことになる。また、「性別」、「好きな色」、「趣味」については、無条件設定となっているのは、購買層は男女双方にわたり、色や趣味についても種々の好みをもった購買層が予想された結果である。これに対し、たとえば、商品コードS3052が割り当てられた商品「スカーフ」は条件がより絞り込まれている。すなわち、年齢20～30才の女性で、赤・黄・白・茶のいずれかの色を好みの色としており（条件中の中点

「・」は論理和ORの条件を示す)、ゴルフまたはテニスを趣味にもつ年収200~500万円の顧客に購買層が絞られている。

【0020】続いて、図4に、商品条件ファイル13の具体的な内容の一例を示す。この例では、上述の商品条件ファイル12に例示したものと同一4種類の商品「ワイングラス」、「スカーフ」、「テニスラケット」、「補聴器」のそれぞれについて、商品情報が用意されている。ここで「商品情報」とは、各商品についてのカタログに掲載すべき情報を意味するものであり、図4に示す具体例では、商品名やキャッチフレーズ、価格、説明文などによって構成される文字データと、商品の写真画像によって構成される画像データと、がカタログに掲載すべき商品情報となっており、それぞれ商品コードによって検索できるような形態で、商品情報ファイル13に収録されている。

【0021】次に、このシステムの具体的な動作を説明する。ここでは、現に営業を行っている通信販売業者が、このシステムを導入した、という前提で動作説明を行う。このシステムを導入した業者は、既に種々の顧客についての個人情報を保持しているのが普通である。そこで、まず入力部20から、この個人情報を入力することにより顧客情報ファイル11を作成する。ここでは、便宜上、図2に示すような4人の顧客についての個人情報からなる顧客情報ファイル11が作成されたものとする。続いて、今回販売を予定している商品についての商品情報を入力部20から入力し、商品情報ファイル13を作成する。ここでは、図4に示すような4種類の商品が販売対象となり、この4種類の商品のそれぞれについて、商品名やキャッチフレーズ、価格、説明文などによって構成される文字データと、商品の写真画像によって構成される画像データと、が商品情報ファイル13として入力されたものとする。具体的には、文字データはワードプロセッサなどの文字情報入力機器によって入力され、画像データはスキャナ装置などの画像情報入力機器によって入力されることになる。次に、業者は、今回の販売対象となった4種類の商品について、個人情報の各属性ごとに条件設定を行い、図3に示すようなテーブルを作成する。そして、このテーブルを入力部20から商品条件ファイル12として入力する。

【0022】かくして、図2に示すような顧客情報ファイル11と、図3に示すような商品条件ファイル12と、図4に示すような商品情報ファイル13と、が情報記憶部10内に用意できたことになる。このように3つのファイルが用意できれば、このシステムによって、各顧客ごとのカタログを自動的に作成することができる。まず、掲載商品抽出部30は、顧客情報ファイル11から1人目の顧客Aについての個人情報を読み出す。すなわち、年齢：35才、性別：男、好きな色：青、趣味：ゴルフ、年収：500万円、といった各属性ごとの個人

情報が読み出されることになる。次に、商品条件ファイル12から1番目の商品「ワイングラス」についての条件を読み出し、各属性ごとに顧客Aの個人情報との条件合致の判断を行う。すると、属性「年齢」については、顧客Aの年齢35才は「ワイングラス」の年齢条件20~60才に合致する。また、属性「年収」については、顧客Aの年収500万円は「ワイングラス」の年収条件400万円以上に合致する。その他の属性については、「ワイングラス」では無条件の設定がなされている。かくして、顧客Aに関して、商品「ワイングラス」はすべての属性が合致したことになり、掲載商品抽出部30は、この商品「ワイングラス」を顧客A用のカタログに掲載する商品として抽出することになる。

【0023】続いて、掲載商品抽出部30は、商品条件ファイル12から2番目の商品「スカーフ」についての条件を読み出し、各属性ごとに顧客Aの個人情報との条件合致の判断を行う。すると、属性「趣味」については、顧客Aの趣味ゴルフは「ワイングラス」の趣味条件であるゴルフ・テニスに合致し、属性「年収」については、顧客Aの年収500万円は「ワイングラス」の年収条件400万円以上に合致する。しかしながら、他の属性である「年齢」、「性別」、「好きな色」については合致しない。このため、掲載商品抽出部30は、この商品「スカーフ」を顧客A用のカタログに掲載する商品としては抽出しない。

【0024】このように、掲載商品抽出部30は、顧客情報ファイル11内の個人情報と商品条件ファイル12内の条件とを比較し、個々の顧客について条件が合致する商品だけを抽出する処理を行う。なお、この実施例では、この抽出処理において、個々の属性についての合致判断は論理和条件で行い、商品を抽出するための合致判断は複数の属性についての論理積条件で行っている。たとえば、「好きな色」という属性については、個人情報内のいずれかの色と、条件として設定されたいずれかの色とが一致すれば、その「好きな色」という属性に関しては合致と判断する。しかし、すべての属性が合致した場合にのみ、その商品の抽出を行う。別言すれば、1つでも合致しない属性が含まれていた場合には、その商品は抽出されないことになる。たとえば、属性「性別」が合致しなければ、たとえその他の属性すべてが合致したとしても、その商品は抽出されない。もちろん、上述のような条件判断は、一例として示したものであり、掲載商品抽出部30による条件判断はどのようなものであってもかまわない。たとえば、2つ以上の属性について合致した場合には、その商品を抽出するようにしてもよいし、最終的に抽出された商品の数が一定数に満たなかった場合には、より緩い条件で追加的な抽出処理を再度行うようなことも可能である。

【0025】さて、上述した条件に基づいて商品抽出処理を行ってゆくと、結局、4人の顧客については、次の

ような商品が抽出されることになる。

顧客A：「ワイングラス」

顧客B：「ワイングラス」，「テニスラケット」，「補聴器」

顧客C：「スカーフ」，「テニスラケット」

顧客D：「ワイングラス」

掲載商品抽出部30は、こうして抽出した各顧客ごとに商品コードをレイアウト処理部40に与える。レイアウト処理部40内には、予め所定のフォーマットが設定されており、与えられた商品コードに基づいて、商品情報ファイル13から商品情報を読み出し、これを所定のフォーマットでレイアウトしてカタログの形態に整えることができる。レイアウト処理後のデータは、カラー電子プリンタ50に転送され、ここでカタログの内容が紙面上に出力されることになる。上述の例の場合、顧客Aについては、図4に示す商品情報ファイル13内から、抽出された「ワイングラス」に関する商品情報が読み出され、カラー電子プリンタ50からこの商品「ワイングラス」についての紹介記事が出力されることになる。なお、上述の例では、説明の便宜上、非常に単純化したモデルを示したため、顧客Aのためのカタログには、「ワイングラス」だけしか掲載されないことになるが、実際には、商品情報ファイル13内には多数の商品に関する情報が用意されており、掲載商品抽出部30においてより多数の商品が抽出されることになる。したがって、顧客Aのためのカタログを作成するために、通常は複数枚の紙面がカラー電子プリンタ50から出力される。加工製本機60は、こうして出力された紙面を加工製本して、各顧客ごとのカタログを作成する。最近では、高性能のカラー電子プリンタが開発されてきており、このようにプリンタの出力紙を綴じ合わせるという手法でカタログを作成した場合でも、従来の印刷によって作成されたものとほぼ同じ品質のカタログを作成することができる。

【0026】図1に示す加工製本機60としては、たとえば、特開平4-371895号公報に記載されている冊子態の作成方法を利用した装置を利用することができる。この装置を利用する場合には、カラー電子プリンタ50から、たとえば、図5(a)に示すような連続紙を出力すればよい。この連続紙の両側には、紙送りのためのマージナルパンチ孔が形成されているので、この部分を切断除去し、顧客1人分のカタログ掲載内容が印刷された連続頁だけを単体として分離する。そして、これを同図(b)に示すように折り畳み、同図(c)に示すように片側を綴じ合わせ、もう片側を一点鎖線で示す切断線に沿って切り離せば、同図(d)のように、顧客1人分のカタログが作成できる。このような処理を行う加工製本機は、たとえば、特開平5-193613号公報や、特開平2-286568号公報に開示されている。

【0027】このように、本システムの特徴は、個々の

顧客に対して、その顧客が購買層となっている商品だけが掲載されたカタログが発送される点にある。すなわち、発送されたカタログは、その顧客のためだけに特別に作成されたカタログになる。

【0028】以上、本発明を図示する一実施例に基づいて説明したが、本発明はこの実施例のみに限定されるものではなく、この他にも種々の態様で実施可能である。たとえば、顧客情報ファイル11において設定する属性として、上述の実施例では、「年齢」、「性別」、「好きな色」、「趣味」、「年収」といった項目を用いていたが、どのような項目を属性として定義してもかまわない。たとえば、「家族構成」、「住宅形態」、「住居地域」、「宗教」、「血液型」、「身長」、「体重」、「嗜好品」といった項目を属性として定義することも可能である。

【0029】また、上述の実施例では、顧客情報ファイル11内では、「購入履歴」を属性として定義し、受注処理部80によって受注があった商品についての商品コードをこの「購入履歴」欄に記録するようにしているが、商品条件ファイル12内には、この属性「購入履歴」についての条件設定は実施例として例示しなかった。しかし、実際には、この「購入履歴」は商品抽出の重要な要素になるものと考えられ、商品条件ファイル12内に何らかの条件設定を行い、商品抽出の一条件として利用するのが好ましい。たとえば、家電製品などでは、一般に買い替え時期が5～6年のものが多い。そこで、「購入履歴」として、購入年月も同時に記録しておくようにすれば、買い替え時期を考慮した商品抽出が可能である。たとえば、商品「冷蔵庫」についての抽出判断を行うのであれば、「購入履歴」を参照し、過去4年以内に「冷蔵庫」を購入した事実が記録されていれば抽出を行わず、5年以上過去に購入した事実が記録されていれば抽出を行う、というような判断が可能になる。

【0030】更に、商品相互間に関連性が定義できれば、「購入履歴」をより有効に活用することが可能である。たとえば、同じ柄の「レインコート」と「傘」があった場合、この2つの商品の相互関連性を予め定義しておけば、過去にその「レインコート」を購入した事実が記録されていれば、関連性が定義された「傘」を必ず抽出するという条件判断を行うことができる。

【0031】また、上述の実施例では、レイアウト処理部40から出力されるデータに基づいて、カラー電子プリンタ50により紙面上にカタログ出力を行っているが、顧客に対して電子情報のままカタログを提示することも可能である。たとえば、レイアウト処理部40でレイアウト処理された電子情報を、電話回線などを介して顧客側の端末機へ送信し、顧客がディスプレイ上でこの電子カタログを見るようなシステムも可能である。

【0032】

【発明の効果】以上のとおり本発明に係る通信販売用カ

タログ作成システムによれば、顧客情報ファイル内の個人情報と商品条件ファイル内の条件とを比較し、個々の顧客について条件が合致する商品だけを抽出してカタログに掲載するようにしたため、個々の顧客に適した商品だけを掲載した、顧客ごとに固有のカタログを作成することができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る通信販売用カタログ作成システムの基本構成を示すブロック図である。

【図2】本発明に係るシステムで利用される顧客情報ファイルの内容の具体例を示す図である。

【図3】本発明に係るシステムで利用される商品条件ファイルの内容の具体例を示す図である。

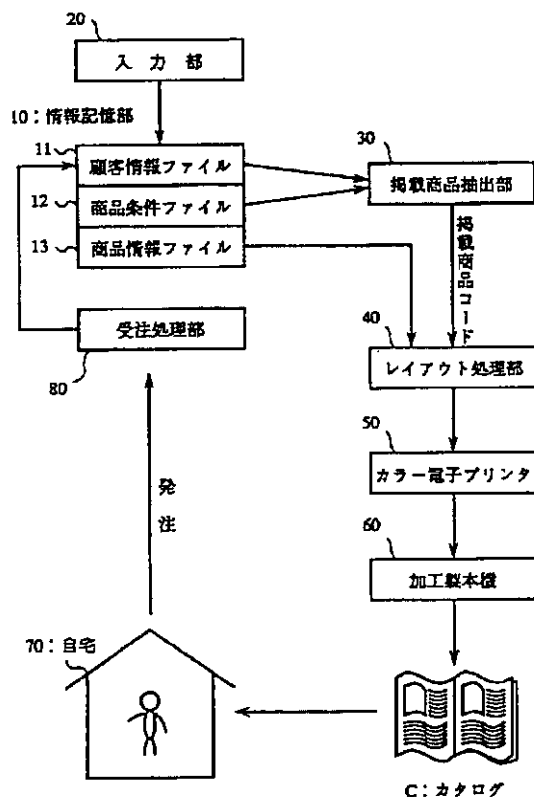
【図4】本発明に係るシステムで利用される商品情報ファイルの内容の具体例を示す図である。

【図5】図1のシステムの加工製本機60の作業内容を説明する図である。

【符号の説明】

- 10…情報記憶部
- 11…顧客情報ファイル
- 12…商品条件ファイル
- 13…商品情報ファイル
- 20…入力部
- 30…掲載商品抽出部
- 40…レイアウト処理部
- 50…カラー電子プリンタ
- 60…加工製本機
- 70…顧客の自宅
- 80…受注処理部
- C…カタログ

【図1】



【図2】

11: 顧客情報ファイル

顧客コード	K1021	K1022	K1023	K1024
氏名	A	B	C	D
年齢	35	52	22	45
性別	男	男	女	女
好きな色	青	白・茶	赤・白・黒	黄・緑・紫
趣味	ゴルフ	テニス	テニス	料理
年収	500万円	800万円	300万円	450万円
購入履歴

【図3】

12: 商品条件ファイル

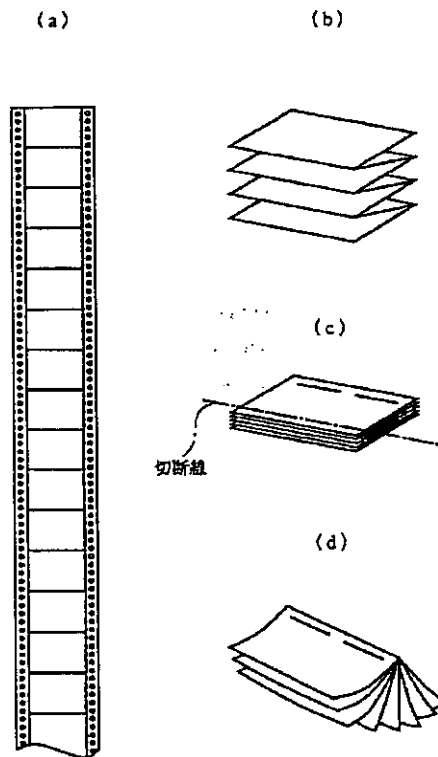
商品コード	S3051	S3052	S3053	S3054
商品名	ワイナグラス	スカーフ	テニスラケット	補聴器
年齢	20~60	20~30	♂	50以上
性別	♂	女	♂	♂
好きな色	♂	赤・黄・白・茶	赤・青・緑	♂
趣味	♂	ゴルフ・テニス	テニス	♂
年収	400万円以上	200万~500万円	♂	400万円以上

【図4】

13: 商品情報ファイル

商品コード: S3051	商品コード: S3052
<p>フランス製 高級ワイングラス</p> <p>ペアで¥10,000-</p> 	<p>スポーティーなあなたに おしゃれなシルクスカーフ</p> <p>2枚組セット ¥7,000-</p> 
商品コード: S3053	商品コード: S3054
<p>ガットがちがう 本格派 テニスラケット</p> <p>¥15,000-</p> 	<p>小型で高性能 電池式消磁器</p> <p>電池付 ¥13,000-</p> 

【図5】



フロントページの続き

(72) 発明者 梶原 聖一
東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 小池 康雄
東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 斎藤 雅
東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 上野 幸洋
東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
大日本印刷株式会社内